

津波の特徴を 理解しよう！



津波は恐るべき破壊力で人や家屋を飲み込み、街を奪い去ります。地上に押し寄せる波だけでなく海へと引き返す波も大変強力で、何度も繰り返し押し寄せ引き返します。また、津波は川を遡上するので河川の沿岸地域でも十分な警戒が必要です。

注意すべき津波の脅威

ジェット機並みの 猛スピード

津波の速度は海が深いところほど速く、深海での速度はジェット機並み。深さ 10m の沿岸部でも時速約 36 km で短距離走を全速力で走るスピードです。

引き波がなくても 襲ってくる

津波の前には波が引くと言われますが、引き波が必ずあるとは限りません。地震の起こり方や震源付近の地形によっては、引き波が起こらないこともあります。

津波の高さは想像以上

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。たとえ沿岸部で 1～2m であっても場合によっては、それ以上高くなる場合があります。

繰り返し襲ってくる

津波は何度も繰り返し襲ってきます。必ずしも 1 回目の津波が最大であるとは限らないので、警報・注意報が解除されるまで注意が必要です。

津波による主な被害

【人的被害】

津波は多くの人命を奪うが、地震発生直後、直ちに避難できれば被害は減らせる。

【家屋被害】

木造住宅は、浸水によって流され、鉄筋の建物でも破壊されることがある。

【火災被害】

津波や揺れで漏れ出した油（タンク・自動車）等が何らかの原因で引火するなど、火災が発生することがある。

津波の避難 経路を確認 しておこう！



命を守る津波対応チャート

こんなときには

- 市から避難勧告・避難指示が発令された
- 強い地震やゆったりした揺れを感じた
- 津波警報が発表された（揺れを感じなくても）

このような行動を

- 海岸にいる人は、直ちに海岸から離れ、高台などの安全な場所へ避難する
- 津波危険区域の住民は、直ちに避難する
- 「自助」を意識する

その後は

- 正しい情報をラジオ・テレビなどで入手する
- 津波は、繰り返し襲ってくるので警報等が解除されるまで海岸に近づかない



- 市から避難準備情報が発令された
- 津波注意報が発表された（揺れを感じなくても）

- 海水浴や釣りはすぐに中止し、すばやく陸上の安全な場所へ避難
- 津波危険区域の住民は避難できるように準備

避難の3ポイント

① 地震の揺れの程度で自己判断をしない

② 避難に車は使わない

③ 「遠く」よりも「高く」へ